

## Imadoki

2022  
March 3

vol.83



## さよなら文房具

皆さんの会社では、年間何枚のコピー用紙を利用しているでしょうか？

コムデックではペーパーレス化が進んだこともあり、2~3,000枚位かと思いつつ、2021年のコピー用紙発注履歴を調べてみたところ、3月、7月、10月の3回で計7,500枚のコピー用紙を注文していました。

2022年からは請求書電子化などで年間1,000枚以上の削減が見込まれており、年間5,000枚程度に削減できそうです。

注文の詳細 | 注文日: 2021年10月26日 (2個の商品) | 送付先: 伊勢市小木町 484-1  
 APP 高白色 ホワイトコピー用紙 A4 白色度93% 紙厚0.09mm 2500枚(500枚×5冊) PEFC認証  
 エイビーピー・ジャパン(APPJ)  
 販売: アマゾンジャパン合同会社  
 再度購入

「ペーパーレス」は、近年繰り返しブームになっている現象ですが、身近な成功例はほとんどありません。その理由は、「コスト削減（紙の使用量やコピーカウントの削減）」「エコ」「SDGs」等々、ペーパーレスを目的として、紙の削減を働く人に押し付けているだけで、主役であるべき働く人にメリットが薄かった、もしくは無かったなからではないでしょうか？

コムデックにおいて「ペーパーレス」がほぼ実現できている理由は、「ペーパーレス化が目的」ではなく、「生産性（収益性）の高い働き方を実現するため」に、モバイルPCやデュアルモニター、クラウドサービスなどの環境的な投資と、Web会議の標準化、リモートワーク、在宅勤務など働き方変革への取り組みを進めた結果であり、自然と得られたものだからと推察しています。

年末の大掃除を機に、もはや紙にまみれたオフィスに戻ることにはないと判断し、保管していた文房具を処分することにしました。

不要となる文房具を陳列したところ、若いスタッフには「これ何？」的なモノも多く、時代の流れを感じました。

紙が減ったことで、多くの文房具が不要となり文房具の購入・保管コストは大きく削減されましたが、モバイルパソコン、ディスプレイ、スキャナーの購入、クラウドサービスのライセンス費用などIT投資は増えて単純なコスト削減にならないのも「ペーパーレス」の特徴です（生産性は爆発的に向上しますので十二分なメリットはあります）。

やはり経営者はコスト削減よりも稼ぐことを一生懸命考えることが大切なのだと悟った2022年のスタートでした。

代表取締役社長 樋口 雅寿





## 簡単RPA

# クーパー Coopelで自動化をはじめよう！

毎月、毎日発生するルーチンワーク。バックオフィスのみならず、「決められた作業を決められた形で毎月だいたいこの日くらいに実施している」業務が会社の中には溢れています。そんな業務の中でも、PC 上で行う作業なら Coopel という RPA ツールを使って自動化できるんです！

今回は、お客様に提供し始めて 1 年が経過する Coopel の魅力と活用方法をご紹介します。

### RPA とは？

ロボティック・プロセス・オートメーションの略称  
毎年・毎月・毎週・毎日といったスパンで発生する「決められた作業を決められた手順で行う繰り返し業務」を自動化できるサービスです。  
一度「シナリオ」と呼ばれる作業手順を作成しておけば、あとはロボットが指示通りに処理を行います。



## RPAの主な機能



### ①作業手順の記録・作成

自動化したい業務の作業手順(=シナリオ)を作成する、記録する。



### ②作業手順実行

ロボットにシナリオを実行させる。

人が日々パソコン上でやっている作業を人が実行するのと同じようにロボットが実行するため、一度やり方さえ教えてしまえば「素早く」かつ「正確」に作業をこなしてくれます。そのため、人の手で行えば 1 時間かかってしまう作業も、RPA を使えばわずか数分でしかもミスなく完了！  
人手不足の解消や、ルーチン作業の自動化による効率アップを実現することができるのです。

## 誰でも使える簡単 RPA ツール Coopel3 つの特長

### 特徴 1 クラウド型 RPA だからサーバ・PC いらす

これまでの RPA ツールは、RPA というロボットを動かすためのサーバや PC が必要でした。導入が高額なるケースもあるサーバ型、ロボットが動いている間は他の作業ができないクライアント PC 型と異なり、クラウド型 RPA である Coopel はロボット用のサーバや PC を用意しなくても使うことができます。



クラウド型

### 特徴 2 プログラミング不要！直感的にシナリオ作成ができる

自動化や RPA と言われると、難しいプログラミングが必要なのではないか？という印象を持たれる方も少なくありません。しかし、Coopel は「何を行いたいのか」に合わせたアクションパーツを組み合わせた後、実際に自動化したい操作を記録させたりすることで自動化シナリオを作ることができます。自分が実際にブラウザ上でマウスを動かしたりすれば自動でシナリオが出来上がってくるのでとっても簡単。少し専門的な話をすると、RPA ツールによくある「変数(ロボットが実行した結果を一時的に保存して、別の処理で再利用するための設定)」の定義がいらないため、プログラミングがわからなくても、直感的かつ効率的に自動化を進めることが可能です。



### 特徴 3 利用料は 1 アカウント 5,400 円 / 月

Coopel の特長は何と言ってもその利用料！月額 5,400 円で無制限に自動化シナリオを作ることができます。

### ご利用可能な主な機能

- ✓ シナリオ開発機能 (数量無制限)
- ✓ シナリオのクラウド及びローカル実行機能
- ✓ シナリオタイマー実行機能
- ✓ セキュアなシナリオアカウント管理機能
- ✓ ワークスペース管理機能

## 中小企業におすすめの RPA 活用方法

- ✓ 毎月月初に WEB サイトにログインする必要がある請求書や利用明細の取得を自動化！
- ✓ 発行した請求書を、所定のメールアドレス宛に一件一件送付する作業を自動化！
- ✓ 売上情報を会計ソフトから Excel に転記していた作業を自動化！

コムデックでは、Coopel のシナリオ作成等もサポートしております！  
「うちのこの業務、自動化できないかな……」「もっと詳しく、どんな業務が自動化できるか知りたい」、そんな時には是非お声掛けください。



コムデックでも実際に「メールで届いた問い合わせを kintone に自動登録する」シナリオを作ってみました！

## お客様の活用事例 Coopel の活用事例はコムデックラボでもご紹介しています！



### kintone×RPA で集計作業を完全自動化！集計に割く時間をゼロに！

三重県松阪市のエクステリア・ガーデニングショップ フローラ様では、HP のアクセス数や工事件数、公式 LINE の登録会員数、店舗での商品別売り上げ、仕入金額等の情報を kintone へ転記する作業を Coopel で自動化。ミスをなくしながら集計時間を削減し、月 16 時間の作業コストがゼロに。kintone の集計機能も活用することで、これまで月次でしか確認できなかった各種集計を日次で確認できるようになりました。



### kintone で作業自動化！RPA Coopel の連携で作業月 20 時間のコスト削減

広島県東広島市の株式会社クレーンメンテ広島様では、お客様にお送りする点検表の PDF 発行とメールによる送付を Coopel で自動化。GoogleDrive に点検表をアップロードしてその共有 URL をメールに記載することで、複数の点検表がある場合でもお客様に届くメールは 1 通になるようにしました。結果的に月 20 時間の作業時間が削減され、注力しなかった業務に時間を使えるようになったとのことでした！

## 経営者様向け情報 納期遅延の嵐 (コンテナ&半導体不足)

「嘘でしょ!!」と絶句するレベルで「受注停止」「未定」の文字が並んでいる資料が 1 月末に送られてきました。掲載した図は YAMAHA 製のルーターや WiFi アクセスポイントの納期状況ですが、納期未定どころか注文すら受け付けてくれない酷い状況となり、「半導体不足」+「コンテナ不足」が IT 業界にも大きな影響を与えてきています。

大人気の iPad に至っては 10 月に発注した分がまだ納期未定 (2 月 20 日時点)... 日本を代表する IT 機器商社から「AppleStore のほうが納期早いので急ぎならそちらで ...」と回答される状態となっています。

新年度から増員で入社の方がみえたり、新規事業、事務所改装等をお考えの会社様、2022 年は例年以上に早め早めの機器手配が必要となりますのでご注意ください。



製品型番	遅延状況	受注停止日
RTX830	一時受注停止、22/4/1受注再開見込	2022/2/2
NVR510	一時受注停止、22/4/1受注再開見込	2022/2/2
NVR500	一時受注停止	2021/12/6
RTX1220	一時生産停止中、製造再開は2022年春以降に後ろ倒し	2021/5/17
WLX212 (B)	一時生産停止中、製造再開は再開時期未定	2021/5/17
WLX212 (W)	一時受注停止	2021/11/12

※YAMAHA はバイクや船外機、ピアノで有名ですが、実は法人向けネットワーク機器を多数製造しています。

## 建設業『株式会社泰成』様

久しぶりのお客様インタビュー、今回ご登場いただくのは三重県松阪市に拠点を置きながら、東北地方を中心に全国で土木工事業を展開されている株式会社泰成様です。株式会社泰成様では、昨年から kintone を導入し原価管理を中心とした活用を進めていらっしゃいます。

コロナ禍でなかなかインタビューにお伺いすることができずしばらくお休みしていましたが、今回はインタビューも Zoom で行わせていただきました！ kintone 導入のきっかけや、導入して大変だったこと等、経理担当の山本様に本音で語っていただいております……！



### ペーパーレス化のきっかけは「長期休暇で海外旅行に行けるくらい『何処でも仕事ができるようにしたい』」？

**コムデック**：Zoom に Dropbox、さらに LINE WORKS や kintone も活用いただいている泰成様ですが、IT を使っていこう！となったきっかけはなんだったんでしょうか？

**泰成 山本様**：きっかけは、正直に言うと『出勤したくない』からだったんです。家から会社まで往復 1 時間半弱もかかるんですよ。

それだけあったら、その時間でいくらでも仕事進められるわ！と思って。

**コムデック**：往復 1 時間半はつらいですね……どんなところから、またいつぐらいから IT 活用を始められたんでしょうか？

**泰成 山本様**：7 年くらい前から、まず「事務所に届いた請求書をスキャンしてメールで送ってもらう」「支払先と金額を Excel で一覧化」を始めました。ただ、最初は IT 化をしているという認識は全くなくて……当時は会計ソフトもクラウドではなかったの、事務所の従業員が入力するときには電話で連絡をもらってこっちは一度落として……終わったらまた連絡をもらってこっちが起動して……みたいなことを繰り返していましたね。

**コムデック**：オンプレ会計ソフトの宿命ですね(笑)

**泰成 山本様**：事務所にいる従業員さんには負担をかけてしまった面もあるんですが、そのおかげもあってコロナよりずっと前から私は自宅で仕事できています。

できれば趣味の海外旅行に行っても問題なく仕事ができるくらいの環境を整えたいですね。

**コムデック**：コロナが落ち着いたなら是非、PC を携えてお出かけください！

**泰成 山本様**：そのころには、逆に『何処にいても仕事しなきゃいけない』って青ざめているかもしれません(笑)

### kintone 導入初期の失敗と苦勞、これから導入する企業にアドバイスも

**コムデック**：『何処でも仕事をできるようにする』ための中核を担うツールと言っても過言ではない kintone ですが、いったいどのような経緯で kintone を知ったのでしょうか？

**泰成 山本様**：kintone を使っていられる企業さんの実際の画面を拝見したことがきっかけでした。ちょうどその頃、現場も増えてきて Excel を駆使して色々管理することにも限界を感じていて。

そんな時にちらっと見せてもらった画面が「Excel っぽいけど Excel じゃない！なんだこれ！」って感じで。

**コムデック**：『限界を感じていた』とのことですが、どんなところに課題をお持ちだったんですか？

**泰成 山本様**：主に **原価管理** の部分です。現場監督から、経理に聞かなければわからない原価費用（社宅費等）について連絡が来るんですよ。会計ソフトに打ち込みが終わっていないと原価の情報を出力できないんですが、どうしても後回しになってしまって、一か月か二か月前のデータしか確定していない。この時点でリアルタイムな情報じゃないんですよ。

それに加えて、現場の人が知りたい情報と会計上知りたい情報ってやっぱりちょっとズレがあるので、会計ソフトから出したデータを見やすいように加工するためにまた二度手間三度手間……みたいな。現場は現場のタイミングがあるので、現場ごとにそれをやっていると、原価管理だけで膨大な業務量になってしまっていました。

泰成様で作っていた原価管理表

**コムデック**：なるほど、その手間をなんとかしたい！ということで kintone を導入いただいたんですね。導入は順調だったんでしょうか？

**泰成 山本様**：それが、結構大変でした……というより、今も絶賛大変です(笑) ちょっと簡単に考えすぎっていたというか……なんでもできると思っていたら、案外融通が利かないぞ？という感じで。

**コムデック**：具体的には、どんなところが大変だと感じていらっしゃいますか？

**泰成 山本様**：これは私の反省でもあるんですが、kintone の導入を従業員さんに入力してもらう必要がある「日報」と「お弁当代の清算」から始めてしまったんですね。ここが結構大変なところだったので、まずそこから……と着手したはいいいものの、従業員さん目線で考えると「これまでやらなくてもよかったことをやらなきゃいけない」んですよ。

**コムデック**：「やるべきことが増える」となるとどうしても抵抗感が生まれますよね……

**泰成 山本様**：今考えると、日報のような直接現場の方に影響のある部分ではなくて、まずは事務だけで処理する部分から kintone 化して、その上で「今こういう風に変えていって少しずつ効率化しているから、ちょっと協力してもらえませんか？」という風に協力を仰いでいく方がよかったのかなあと感じています。

**コムデック**：従業員さんの負担を考えると、導入の順番やストーリーがとても重要と仰うことですね！

**泰成 山本様**：これから kintone を導入される会社さんは、是非そこを検討してみてください(笑)

泰成様、インタビューにご協力いただきありがとうございました！



株式会社泰成さまの kintone を活用した原価管理については、コムデックラボで詳しくご紹介しています！